

シンポジウム

見つめよう。私たちの森林 私たちの活動

- 地球温暖化防止を進める地域づくり -

開催要領

日 時： 平成11年6月28日(月) 13:00から
" 29日(火) 12:00まで(展示会場は15:00まで)
(特別セミナーは16:00まで)

場 所： 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3-1 03-3467-7201

開催趣旨： わが国は、平成9年12月の「気候変動に関する国際連合枠組条約・第3回締約国会議(COP3)」(地球温暖化防止京都会議)において採択された「京都議定書」において、2008年~2012年の温室効果ガス平均排出量を1990年水準より6%削減することを世界に約束しました。これを実行するためには、国、地方公共団体、事業者、国民一丸となり循環型社会を築いていかなければなりません。

一方で、まもなく21世紀を迎える現在、国民各層が自然環境と調和した暮らしや精神的充足、生きる意味を満たせることを求めています。この結果、各地で自然とのふれあい活動、里山林など身近な森林の保全活動、森林をフィールドとする子供たちの野外教育活動、都市との交流を通じた森林づくりや地域材の利用など、市民レベルの実践的な活動を盛んにし、こうした活動は都市近郊から広く過疎地域等の活性化にも寄与しています。

このような市民レベルの実践活動こそが地域資源である森林を有効に活用する循環型社会づくりへとつながり、地球温暖化防止のみならず、過疎・山村地域等をはじめとする活力ある地域社会を実現していくものと考えます。

本シンポジウムは、このような実践活動について、関係者が一堂に会して討議、情報交換を行うことを目的として開催します。

参加者： 都道府県担当職員、県民の森等森林総合利用施設担当者、森林組合および関係団体の実践者、環境教育事業者、森林づくり・地域づくり活動者、一般参加者等300名。

主催： 全国森林組合連合会

後援： 林野庁・文部省・環境庁・国土庁・自治省
(申請予定) 社団法人国土緑化推進機構・社団法人全国林業改良普及協会・
社団法人全国森林レクリエーション協会・農林中央金庫

開催形式： メインシンポジウムは、市民の具体的な実践活動を進める視点から分科会方式で実施します。また、参加者相互の情報交換の場として、展示会場を設置するほか情報交換会を設営します。

あわせて、平成11年度都道府県事業実施予定の都道府県(12年度実施検討県で希望のある県も含む。)の担当者を対象に特別セミナーを実施します。

事務局： 全国森林組合連合会・シンポジウム事務局
TEL. 03-3294-9716(代) FAX. 03-3294-9724 担当： 肱黒・小川・菊地
Email: zenmori3@magical2.egg.or.jp

シンポジウム日程表

〔第1日〕6月28日(月)

13:00～14:00	開会・全体会議 主催者あいさつ 来賓あいさつ・紹介 基調レポート「地球温暖化対策について」 座長：岡島成行氏（青森大学大学院教授）
14:00～14:15	休憩
14:15～16:45	分科会 分科会1「森林環境教育」 （定員100名） おもに子供たちを対象とした森林内での教育活動の進め方やそのことによる地域づくりの実践報告。 コーディネーター：稲本 正氏（オーク・ヴィレッジ代表） 報告者：佐藤初雄氏（国際自然大学校長） 報告者：平野吉直氏（信州大学教育学部助教授） 分科会2「里山林の保全活動」 （定員100名） 里山林などの身近な森林の保全活動の進め方やそのことによる地域づくりの実践報告。 コーディネーター：水野一男氏（木文化研究所代表） 報告者：小林将浩氏（トヨタ自動車） 報告者：早川誠爾氏（上迫間ふれあいの森林づくりの会会長） アドバイザー：林 進氏（岐阜大学農学部教授） 分科会3「森林・木材をつなぐ都市と過疎・山村地域との交流」 （定員100名） 森林整備や地域材利用を仲立ちとする交流とすることによる地域づくりの実践報告。 コーディネーター：佐藤敬一氏（東京農工大学農学部助教授） 報告者：小林正美氏（全国大学生生活協同組合連合会専務理事） 報告者：三澤文子氏（M s 建築設計事務所）
16:45～17:00	休憩
17:00～18:00	全体会議 各分科会コーディネーター報告 座長：岡島成行氏 コーディネーター：稲本 正氏 コーディネーター：水野一男氏 コーディネーター：佐藤敬一氏
18:30～20:30	情報交換会

展示会場

参加者の活動状況を紹介する掲示板の設置や後援団体の資料展示、関連書籍販売を行います。

〔第1日〕6月28日(月) 13:00～18:00

〔第2日〕6月29日(火) 8:30～15:00

特別セミナー（11年度実施県等担当者対象、20名程度）

〔第1日〕6月28日(月) 14:15～18:00

〔第2日〕6月29日(火) 8:30～16:00

講師：川嶋 直氏（キープ協会常務理事）

講師：藁谷 豊氏（ワークショップ・ミュー代表）

講師：水野一男氏

講師：佐藤敬一氏

講師：原島幹典氏（林業家・森林インストラクター）

〔第2日〕6月29日(火)

8:30～10:45

実践的活動を進めるワークショップ

ワークショップ1「取り組みのための人材の養成」 (定員35名)

活動の実現に向けて運営に携わる優れた人材の養成方法について迫る。

講師：佐藤初雄氏

ワークショップ2「取り組みのための場所の整備に向けて」 (定員35名)

活動を行うためのフィールドづくりについて考える。

講師：浅野房世氏(エス・イー・エヌ環境計画室取締役)

講師：石田易司氏(日本キャンプ協会常務理事)

ワークショップ3「森林環境教育のプログラムづくりについて」(定員35名)

活動目的を達成するためのプログラムの設計の仕方について考察する。

講師：佃 正壽氏(森林たくみ塾)

ワークショップ4「環境を活用した過疎地域等の活性化 (定員35名)

- 森林環境教育の企画の方法について -

活動を進めるに当たっての時間、人間、資金、コンセプトの管理方法について考える。

講師：黒岩 淳氏(ワークショップ・ミュー)

先駆的な取組事例報告

(定員160名)

環境問題、市民への森林教育活動、循環型の資源利用に取り組む先駆的な森林組合事例を報告。

コーディネーター：中沢和彦氏(全国林業改良普及協会情報出版部長)

報告1「林産物の残廃物から堆肥づくりをすすめる」

報告者：大嶺進一氏(沖縄県・国頭村森林組合代表理事組合長)

報告2「都市開発に森林資源活用システムを導入」

報告者：氏原 修氏(大阪府・高槻市森林組合参事)

報告3「森林教育をすすめるグリーンパイロット」

報告者：長屋公久氏(岐阜県・板取村森林組合総務課長)

報告4「道産トドマツ間伐材から油吸着材」

報告者：佐藤浩一氏(北海道・北海道森林組合連合会参事)

10:45～11:00

休憩・移動

11:00～12:00

全体会議

とりまとめトーク

コーディネーター：星野敏男氏(明治大学教授)

話題提供者：稲本 正氏

話題提供者：林 進氏

12:00

閉 会

閉会あいさつ(主催者)
